

2 経管栄養関係の事例 ～注入回数について～

発生時の状況と経過

給食時間、『ペースト食50mlを注入し、注入後白湯10mlを注入する』を計4回実施すべきところ、1回目と2回目の白湯の注入をしなかった。

発生時の対応と処置

3回目のペースト食注入時に、他の看護師が気づき、3回目と4回目の白湯は注入した。児童の下校時、保護者に報告し、謝罪した。

考えられる原因や背景

- ・注入時の個別マニュアルをしっかりと読んでいなかった。
- ・他の看護師からやり方の説明を受けていたが、正しく理解しておらず、ペースト食200ml 全て注入した後に、白湯40mlを注入するものと思い込んでいた。

再発防止に向けた対策・改善点

- ・注入時の個別マニュアルをしっかりと読み、正しく理解できているか確認する。
- ・実施するとき、教室内の教員や看護師に報告するとともに、注入する物品や回数などを声に出して確認してから実施する。

医療的ケア実施個別マニュアル			
			作成日 平成30年4月3日 児童生徒氏名
担当看護師			
実施期間 (指示書有効期限)	平成30年4月9日～ 平成31年3月31日	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
実施内容	経管栄養(買ろう)		
必要物品	給食(ミキサー食)、内服2回、エルカルチン2ml、シリンジ3本、白湯、ティッシュ、タイマー		
実施目安	給食時		
実施手順	1 手洗いをし、買ろう接続チューブをつける。(買務確認はなし) 2 内服2種類を注入する。 3 シリンジでペースト食を吸引する。買ろう接続チューブが傾かないように注意しながら50mlをゆっくり注入した後に白湯10mlを注入する。15分休憩したら同様に注入する。それを4回繰り返す。表情や顔色など様子を見ながら注入する 4 終了時、白湯を流す。		
予備される緊急時の状況・対応	注入時に顔が早くなるときは注入スピードを遅くしたり、時間間隔を15分以上空ける。		
その他の事項	は肌下駄の時は10分間隔で注入する。(配膳、パジャマ、はき履)		
確認サイン (日時)			

ポイント！

- マニュアルに従って操作する場合には、見やすく理解しやすいように図で示しておくといいでしょう。
- マニュアルを守るだけでなく、4回に分けてその都度白湯を注入する理由も理解しておきましょう。